

塗料	耐用年数	特徴
アクリル	3~8年	最も安価で重ね塗りしやすく、また光沢があり発色しやすいため、調理家電や自動車の上塗りでよく使用されています。ただし耐用年数が3~8年程度と短い為、外壁のメンテナンス用として採用されるケースは多くありません。
ウレタン	5~10年	主成分がウレタン樹脂である「ウレタン塗料」は、柔らかい素材なので密着性に優れています。剥がれにくく硬度があり、細かい箇所や曲面にも対応でき、複雑な形状の外壁にも最適です。
シリコン	7~15年	主成分がシリコン樹脂になり、総合的に住宅保存にかかるコストを大きく削減できると言われるほど、非常にコストパフォーマンス性の高い塗料です。 「塗料選びに迷ったら、シリコンが良い」と勧める塗装業者も多く見られます。
フッ素	12~20年	耐熱性・耐寒性が高いため、あらゆる気候に対応できる上、耐用年数も12~20年と非常に長いのが特徴です。酸性雨や紫外線に強く、長い期間メンテナンスをしないで済むことから、高層ビルなどの塗装でも好まれています。
ラジカル	8~16年	塗膜の劣化・変色を防いでくれる「高耐候酸化チタン」や「光安定剤」を主成分としています。価格帯は従来のシリコン塗料、耐久力は従来のフッ素塗料とほぼ同等であることから、外壁塗装でメイン塗料になると期待されています。
セラミック 断熱 / 遮熱	10~25年	セラミックが配合された塗料のことを「セラミック塗料」と言います。セラミック塗料の代表格である『ガイナ』の場合は、遮熱・断熱どちらの効力も發揮するため、暑い日差しを遮りつつ、室内環境を一年中快適にしたい方から好評です。
光触媒	10~20年	「酸化チタン」の性質を利用した塗料です。酸化チタンと紫外線が化学反応を起こすことで、壁面に着いた汚れを分解します。汚れを自然に洗い流してくれるという魅力もありますが、現在主流な塗料の中では最も高額です。
無機	10~25年	無機物を主成分としている為、有機物の劣化によって引き起こされるトラブルを起こしにくくなります。ただ無機質だけでは、ひび割れが発生しやすくなるので、最低限の量の有機物(合成樹脂)と混合した「有機・無機ハイブリッド塗料」が主流になります。
ナノテク	10~15年	アクリルシリコン樹脂が配合された、水性塗料の一種です。防火性・防カビ性があり、雨水で汚れを落とす力もあるため、外壁を長持ちさせることが可能で、シックハウス対策としても有効と考えられています。